

(別紙様式)

箱根町立小・中学校統廃合準備委員会検討部会の会議結果概要報告書

19年1月25日

| | |
|-----------------|---|
| 部会種類 | 学校給食検討部会 (第1回) |
| 開催日時 | 19年1月18日(木) 15時~16時30分 |
| 開催場所 | 分庁舎4階 第7会議室 |
| 出席者 | 代表: 中村校長、遠藤校長、教育次長 構成員: 尾崎、勝俣、石川、隅田、長田、湯川、代田、鈴木学校統廃合担当課長、関田 |
| 議題及び検討・調整結果等の概要 | <p>議 題</p> <ol style="list-style-type: none">1 箱根町立小・中学校統廃合準備委員会設置要綱等について(検討組織体系図、検討イメージ)2 学校統廃合推進にかかる主な作業フロー(案)について3 検討部会の今後の進め方について <p>概 要</p> <p>過日住民合意を得た町立小・中学校統廃合計画に沿い、平成20年4月の統合体制スタートへ向け、学校統廃合を推進していくための検討組織として、「箱根町立小・中学校校名選定委員会」及び「箱根町立小・中学校統廃合準備委員会」を、また、同準備委員会に「箱根町立小・中学校統廃合準備委員会検討部会」を併せて設置した旨の確認。その後、部会における今後の検討の進め方等について協議。</p> <p>【協議した主な内容(項目)等】</p> <p>●統合中学校における給食(全般)について</p> <ul style="list-style-type: none">・平成19年度中に箱根明星中学校に給食調理室を新設し、自校方式による給食(各教室で食べる)を実施する考え。・給食実施に伴う消耗品(食器)や備品(食缶等)は小学校廃校による余剰分(中学校で使い回せるもの)は活用した上で、不足する分及び中学校用として必要なもの(余剰品では対応できないもの)については新規購入する考え。・給食調理室に関する栄養士の意見を聴く機会を別途設ける。 |

| | |
|-----------------------------|---|
| <p>議題及び検討・調整 結果等の概要</p> | <ul style="list-style-type: none"> ●給食時間、配膳等について <ul style="list-style-type: none"> ・現在の明中の昼食時間（15分）は結構短い。 ・給食を実施することにより、昼食時間は当然長くなる。（放課後の活動への影響への懸念） ・給食は効率良く配膳することも必要。 ・できる限りゆっくり食べさせたい。 ・男女で食べる量に差があるので、各自で量を調節しながら料理を盛ることはできないか。⇒ 衛生管理の面から、白衣を着た人（当番）が配膳するということが集団給食の原則。 ・部活の朝練に参加した場合、給食の時間までの間にお腹が空いてしまうのではないか。 ・アレルギーのある子どもには、できる範囲で対応する。 ●その他 <ul style="list-style-type: none"> ・近隣のドライシステムによる給食調理室を視察する機会も設けたい。 ・新しい給食設備（釜など）の慣らしや消毒も必要である。 ・小学校給食と比較し、中学生ではそのおよそ1.5倍のカロリーが必要であり、その分多くの量を調理する必要がある。 ・アレルギーのある子どもに対する対応は家庭と学校でお互い連絡を取り合うという、連携が必要不可欠である。 ・食材の業者選定、発注を検討していく。 ・栄養士の視点で、作業フロー的なものを後日たたき台として事務局に提出していただく。 ●次回の打ち合わせ内容（課題）について <ul style="list-style-type: none"> ・何をいつまでにやらなければならないか、栄養士と打ち合わせをし、これを踏まえた上で、課題を整理して順次検討していく。 |
| <p>会議資料</p> | <p>箱根町小・中学校統廃合準備委員会設置要綱、箱根町立小・中学校統廃合準備委員会検討部会設置要領、統廃合にかかる検討組織体系図、統合にかかる検討組織における検討イメージ、学校統廃合推進にかかる主な作業フロー（案） 他</p> |